

## 会 議 録

会議の名称	豊中市公共事業再評価委員会		
開催日時	令和7年（2025年）12月25日（木）18時00分～19時10分		
開催場所	豊中市役所 第二庁舎5階 第一会議室	公開の可否	可
事務局	都市計画推進部都市整備課	傍聴者数	0人
公開しなかった理由			
出席者	委員	○公共事業再評価委員5名 ・岡山 敏哉委員 ・尾崎 平委員 ・榊 愛委員 ・佐野 こずえ委員 ・山内 康弘委員	
	事務局	・武川次長兼課長、土持主幹兼課長補佐、大須賀係長、今北主査、小杉主事、伊藤	
	その他	○市民協働部地域連携課 ・橋本センター長兼主幹、久野係長 ○株式会社都市・計画・設計研究所 ・平井、宮本	
議題	1. 委員長の選出について 2. 密集市街地総合防災事業に係る再評価について 3. 神崎川駅周辺地区に係る事業評価について 4. 都市再生整備計画（庄内駅西地区）事後評価について 5. その他		
審議等の概要 （主な発言要旨）	別紙のとおり		

## 令和7年度 豊中市公共事業再評価委員会 議事録

1. 日 時：令和7年12月25日（木） 18時00分～20時00分

2. 場 所：WEB会議（傍聴：豊中市役所第二庁舎5階第一会議室）

委員	岡山 敏哉	（大阪工業大学 工学部 建築学科）
	尾崎 平	（関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科）
	佐野 こずえ	（近畿大学 建築学部 建築学科）
	榊 愛	（摂南大学 理工学部 住環境デザイン学科）
	山内 康弘	（近畿大学 経済学部 総合経済政策学科）

（50音順）

### 3. 議 事

#### （1）評価対象事業

下記の再評価対象事業について、事業主体から、現在までの進捗状況や事業の必要性等を説明し、審議を行った。

①密集市街地総合防災事業（豊中市庄内・豊南町地区）[事業主体：豊中市]

②住宅市街地総合整備事業（豊中市庄内・豊南町地区

重点区域：神崎川駅周辺地区 拠点開発型）[事業主体：豊中市]

③都市再生整備計画（豊中市庄内駅西地区）[事業主体：豊中市]

#### （2）事業別審議結果

委員会の意見：

①「事業を継続」とする市の対応方針案は妥当と判断する。

②「事業採択」とする市の対応方針案は妥当と判断する。

③計画の事後評価結果として妥当であると判断する。

## 豊中市審議内容（議事録）

---

事務局より①について資料説明

:事業概要、費用対効果の結果、事業継続の判断、今後の方向性など

岡山委員

大島町地区主要生活道路整備の例で、物理的に密集市街地が改善していつていることは理解したが、従前居住者対応などのソフト的な対応はどのようにしているのか。従前居住者が地区外に出ていつているのか、再築して住み続けているのか。過去に堺市の事例で、従前居住者対応に苦慮したことがあった。生活環境を変えたくないといった声は一定あるのではないか。

事務局

大島町地区主要生活道路整備事業の場合は、地区の隣接地に都市再生住宅を整備し、従前居住者に入居してもらい取組みを行い、都市再生住宅へ移転する方もいた。しかし、他の地区と異なり移転補償を行う道路整備のため、地区外に転出される方もいる。

岡山委員

近隣に住み続ける選択肢もあるのであれば、十分なフォローが出来ていて良いと思う。

岡山委員

費用対効果分析で公共施設整備費が前回、前々回と比べて増加しているが、これは物価高騰や建設費の上昇が影響しているのか。

事務局

三国塚口線や曾根島江線などの大規模な幹線道路整備が新たに当事業に追加されたため、費用が増加している。

ただし、今後の評価においては、頂いたご意見のとおり物価上昇分などが影響してくる可能性はある。

岡山委員

老朽木造住宅の除却費補助を今年度までで取りやめるとのことだが、それに代わる新たな施策はあるのか。

事務局

基本的に国庫補助に位置づけられるメニューを考えており、例として、老朽木造住宅を市が買収し除却するといった手法があり、そちらを検討している。想定平均焼失率を算定することにより大幅に数値が改善する箇所の特定が可能のため、整備効果が高い箇所に焦点を当てて、危険密集の解消を図る予定である。

尾崎委員

危険密集に位置づけられる区域の焼失率は現在どれくらいなのか。

事務局

国の指針では、想定平均焼失率の算定は 10～15ha 範囲で算定することを推奨しており、各地区で 23%以下を目指すものである。

具体例を出すと、大島町地区では令和 2 年度時点で約 70%と高い状況であったが、主要生活道路整備により約 40%まで改善している。

尾崎委員

費用便益分析の地価関数はどのような項目を計上しているのか。防災性向上が事業のポイントであると認識しているが、防災性向上を要素として組み込むことはあるのか。

事務局

当事業の場合、便益が見込める地価関数として主要生活道路整備による道路幅員拡幅があり、本算定では道路幅員が広がるほど理論地価が上がるような地価関数になっている。防災性については、算定マニュアル上変数として組み込むことが難しいため、地価関数としては入っていない。

岡山委員

当委員会では、事務局から説明があった通り、事業継続と判定して問題ないと思うが、異議はないか。

各委員

異議なし。

岡山委員

当委員会での結論として、事業継続とし、当委員会での意見を踏まえながら事業推進に取り組んでいただきたい。

事務局より②について資料説明

:事業概要、費用対効果の結果、事業採択の判断、今後の方向性など

佐野委員

災害リスクの低減による防災性の向上とあるが、想定している災害とはどのようなものか。

事務局

基本は延焼災害を想定しているが、河川が近いこともあり、水害リスクも検討する必要があると考えている。神崎川駅の鉄道橋梁は大正 9 年に作られており高さが低いため、平成 30 年の台風時には河川の水嵩が上がり、鉄道が運休する事態となった。大阪と神戸を繋ぐ重要な路線であるため、橋梁の架け替えにより水害リスクについても低減したいと考えている。

佐野委員

神崎川公園の整備による防災性の向上というのは、地震災害を想定しているものか。

事務局

庄内・豊南町地区の北側には、広域的な避難が可能な公園として野田中央公園がある。今後は、

庄内・豊南町地区の南側にも地震時の避難場所や火災時の延焼を防ぐ機能を持った公園が必要と考えている。

神崎川駅周辺ということもあり河川が近い公園となるため、地盤の嵩上げなどによる水害対策も考慮した整備の検討が必要であると考えている。

岡山委員

阪急の整備スケジュールはどのようになっているのか。関わっている事業で阪神なんば線の伝法駅でも同様の取組みが行われているが、神崎川駅周辺のまちづくりと橋梁の架け替えのスケジュール感を教えていただきたい。

事務局

橋梁の架け替えについては、令和10年度からの設計着手を目指している。

順番としては、橋梁の架け替えと豊中市側への改札増設があり、その後まちづくりが行われるようなスケジュール感になる。

岡山委員

当委員会では、事務局から説明があった通り、事業採択と判定して問題ないと思うが、異議はないか。

各委員

異議なし。

岡山委員

当委員会での結論として、事業採択とし、当委員会での意見を踏まえながら事業推進に取り組んでいただきたい。

---

市民協働部地域連携課より③について資料説明

:計画概要、事後評価(取組み実績、評価指標等)の説明

山内委員

良い取り組みだと思うので、より広域的に効果を上げていくことも考えていただきたい。地域的に遠いエリアで便益を享受できる取組は何かあるのか。

地域連携課

施設側から遠い地域にサテライト的に出張したり、コラボセンターを使って新しい取り組みをしたいという希望者とのマッチングを行い、協働するといった取り組みはある。

岡山委員

ハコモノ行政と揶揄されることもあるが、市民の満足度も高く、かなり充実した取組になっている印象を受けた。説明いただいた企画やアイデアは施設の職員が考えて実施しているのか。

地域連携課

開業当初は施設側で考えた企画を行うことが多かったが、最近では施設利用の申し込みや「こ

んな企画をやりたい」といった市民提案を受けて実施しているものもある。

山内委員

子育て支援施設が入っていると思うが、一時預かりなども行っているのか。

地域連携課

一時預かりは行っておらず、未就学児が親と一緒に来て遊んだり、子育て相談を受けたりといった業務がメインである。

山内委員

子育て中で休職している親の職業訓練なども行っているのか。

地域連携課

豊中しごと・くらしセンターが入っており、こちらの取組みとして、就業支援やイベント的に子育てからの再就職講座を実施している。

尾崎委員

事後評価指標をみると、ご説明いただいた取組みを評価する指標が不足しているように見受けられる。開業前に設定した指標であるため仕方ない部分があることは理解するが、今後実際に力を入れている取組みを評価できると良いのではないか。

地域連携課

実施しながら見えてきたところもあるため、いただいた意見を参考にさせていただく。

佐野委員

開業前の公共施設有効活用委員会に出席し、検討段階から意見させてもらっていた経緯があったこともあり、今回の委員会では事後評価の結果だけでなく写真なども用いた取組み実績の紹介をお願いさせていただいた。今後、取組みをPRする際にも今回のような説明資料を活用いただき、施設の良さをもっとアピールしていただけたら。

地域連携課

実施しながら見えてきたところもあるため、いただいた意見を参考にさせていただく。

岡山委員

当委員会での意見を踏まえながら引き続き取り組んでいただきたい。